

長南町東部営農組合でキャベツの栽培が始まりました

～集落営農組織の高収益作物導入による経営改善支援～

長生農業事務所改良普及課 令和6年9月3日発

長南町東部営農組合は昭和59年に設立され農家数約200戸、水田面積172haで水稲、大豆、小麦を生産する農事組合法人です。令和元年に農地中間管理機構関連農地整備事業に着工し暗渠排水の整備を行っています。排水改善により高収益作物の栽培が可能になり、今年度からキャベツとえだまめ各30aの栽培に取り組むことになりました。

7月19日にキャベツの播種、8月22日にほ場への定植を行いました。当該地域は重粘土質土壌で野菜類の栽培が難しいため、堆肥等による土壌改良や明渠による排水対策など万全の準備を行いました。また、初めてのキャベツ栽培のため、JA、種苗会社、機械メーカー、農業事務所と綿密な連携の下に栽培に取り組んでいます。

農業事務所では11月の収穫に向け、関係機関と連携して栽培の支援を続けるとともに、地域の集落営農モデルとして育成し、地域農業の発展を促すよう活動を進めます。



セルトレイへの播種作業



乗用定植機による定植